

# IES Newsletter

県立高校入試問題分析その1 (福井県中学校長会の分析より一部抜粋し、加筆してあります)

## 【英語】

設問と配点	求められるもの
問1 長文読解(28点) 企業で働く女性が母校の中学生に向けて行ったスピーチの内容を読み取る問題	留学の体験や、留学についての高校生の考えに関するデータを通して筆者が考えたことを、速く正確に読み取る力
問2 対話文(27点) 英語版広報誌についての対話を読み、設問に答える問題	「夏休みの活動」についての会話の中で、それぞれの生徒が述べているボランティアについての意見や提案を整理しながら正確に読み取る力
問3 英作文(15点) 対話文を読み、早朝に勉強する生徒の立場に立って自分の考えを40語程度の英語で表現する問題	対話の内容を理解した上で、つなぐりに注意して正確に書く力
問4 聞き取り(30点) (1) 日常会話を聞き、質問に答える問題 (2) 留学生のスピーチを聞き、必要な情報を聞き取る問題 (3) CMを聞いて、要点を聞き取る問題 (4) 自分の好きな色とその理由について英語で表現する問題	自然な口調で話されるまとまりのある英語を聞いて、話し手の意向や具体的な内容などを理解する能力

### 【考察】

今年度の大きな変化は、2点ありました。

一つは問2の対話文で、対話の前に資料(英語版広報誌)が登場し、それを見ながら会話をしている設定になっています。これまでは対話全体を読まなくても、個々の生徒の発言を見れば答えられるような設問が多かったのですが、今年は**情報を整理しながら読み取っていかなければならない**ために、やや難しくなっていると言えます。

二つ目は問3の英作文で、これまでの「ある意見について賛成か反対の立場で自分の考えを書く」形式や、「あるテーマについて自分の考えを書く」という形式から、「対話の内容を理解し、対話の流れに合うような英文を40語程度で書く」形式に変わりました。対話の最後に質問があって、それに対する自分の答えを書くというような出題は過去にありましたが、今年度は対話の途中が抜けていて、自分が伝えることを聞いて相手が「(あなたのいうことを聞いて)朝早く勉強するのがいいと思うようになった」と答える、つまり**相手に自分の考えを納得させるような表現力**が必要になっています。

また、全体的に英語の量が増えたこと、問4の聞き取り問題の(2)で、メモ自体が英語になっていること、英作文の配点が減り、聞き取り問題の配点が増えたこと、などの変化も見られました。

ただ、こうした変化はあっても、内容としてはこれまで通り、「まとまりのある英文の内容を速く正確に読み取ったり、聞き取ったりする力」と「自分の考えをまとまりのある英語で正確に表現する力」をみるための試験であることに違いはありません。こうした力を確実に身につけるために、次のようなことに取り組むとよいと思います。

- (1)教科書の英文を繰り返し音読すること
- (2)教科書の英文の内容を正確に理解すること
- (3)自然な速さの英語を聞き取る練習を積むこと
- (4)自分の考えを正確な英語で表現する練習をすること

後で述べる国語の試験の考察にも登場しますが、「面倒くさい」、あるいは「習ってない」といって、自分で考えることをしなければ、どの教科においても伸びることはありません。「面倒くさいことをやってみたのに結果につながらないからイヤになった」という人も少なくないですが、そういう人は面倒なことにチャレンジできた自分を思い出して、もう一度やってみてください。その時に、ちょっと方法を変えてみるのが実力アップの秘訣です。場所や時間を変えてやってみたり、やり方自体を変えてみたり、変えられる部分は必ずあるはず。特に、今年受験を迎える中学3年生の皆さんにとって、残された時間はそう多くはありません。頑張ってみましょう。

## 【国語】

問題と配点	求められるもの
問一 説明的文章(27点) 理科離れの現状を通して、学ぶことの意義を述べた文章	筆者の主張に至るまでの根拠と例の挙げ方などを的確にとらえる力
問二 漢字と書写(18点) 漢字の読み書きと書写に関する出題	筆順と始筆を関連付けた学習
問三 文学的文章(22点) 美術館や絵を介して母娘の心の交流を描いた文章	登場人物の心情を会話の中から読み取る力
問四 古典(18点) 紅葉を題材にした漢詩とその書き下し文	漢詩の基本的な知識
問五 作文(15点) 二つの資料を読んで、「言葉の使い方」についての自分の意見を書く。(200字以上240字以内)	資料の内容を理解した上で、自分自身の経験や考えをまとめて表現する力

### 【考察】

問1の文章は、単に試験の問題というよりも、今の若者に考えてほしいこととして問題作成者があえて選んだ題材なのではないかと思われるほど、メッセージ性が強く感じられます。

**「学ぶことからの逃走」、「自分で考えることの拒否」、いずれも今の教育現場ではよく見受けられる現象ですが、筆者はその理由を次のように述べています。**

**「おそらく多くの若者が、勉強とは教えられるものであり、よけいなことを考えずに効率よく理解し、問題が解けるようになればよいというメッセージを送られ続けたことの影響であろう。」**

そして、この現状を克服する一つの方法として、「輪講」という学び方が紹介されています。

「輪講では、まず参加者全員でテキストを音読して、言葉の意味や書かれている場所、時代の背景を調べる。その後、参加者が交代でチューターを務め、自分が読み取った内容を説明する。それを元にみんなで質疑討論して理解を深める。」

英語に限らずどの教科においても、教科書の文章を音読すること、一つ一つの言葉の意味をよく考えること、そして理解したことを自分の言葉で説明することは、学びを定着させるためにとても大切なことだだと思います。とりあえず声に出して読んでみてください。自分の声を、自分に聞かせてあげましょう。

「その2」に続きます→

# ES Newsletter

県立高校入試問題分析その2 (福井県中学校長会の分析より一部抜粋し、加筆してあります)

## 【社会】

問題と配点	求められるもの
問1 世界地理(14点) 地図や資料、統計の活用、世界の諸地域の特色に関する問題	世界の諸地域の特色に関する基本的な知識や、資料を活用して判断する力
問2 日本地理(14点) 日本の諸地域の特色や変化に関する出題	多様な資料を読み取り、日本の諸地域の特色や変化を多面的に考察し表現する力
問3 歴史(28点) 文字や貿易、情報といったテーマに沿った歴史的事象に関する出題	多様な資料を読み取り、日本の諸地域の特色や変化を多面的に考察して表現する力
問4 地・歴・公融合問題(20点) 福井県の良さを認識させる設問	社会的な事象について、基礎的な知識の理解や資料を的確に読み取る力
問5 公民(24点) 政治、経済、環境などについての設問	現代社会における社会的な事象を考察し、表現する力

### 【考察】

地理・歴史・公民の3分野について、基礎的・基本的な知識とともに、思考力・判断力・表現力を総合的に問う問題です。特に、今日の社会的課題に対する見方や考え方について、様々な面から問う工夫がみられます。具体的な特徴として、大問すべてにおいて記述式の設問がありました。簡単に示すと、

- 問1 同じ緯度にある二つの都市の年平均気温が違うのはなぜか(答：標高が違うから)
- 問2 浜松市の人口が増加したにもかかわらず、人口密度が小さくなった理由は  
(答：町村合併があったから)
- 問3 江戸幕府が朱子学を中心に儒学を奨励した理由は  
(答：身分秩序を重視する学問だから／武家社会において、時代の安定に役立つと考えられたから)
- 問4 観光客が増加すると福井県の財政が豊かになる理由は(【 】内に入る語句を答える)  
(答：観光客が増えれば、福井県内の商品の【販売額が増える】ので、税収が増えるから)
- 問5 (お店で、川の字のように各レジの前に列を作るのではなく、一列に並んだ先頭の人から空いたレジに行くフォークのような)レジの並び方のよい点を「効率と公正」の観点から説明せよ  
(答：①【空いているレジがない】ため、効率が良い  
②【並んだ順に対応する】ため、公正である)

このような問題が苦手だという人も少なくないのですが、そういう人はぜひ、普段の授業の中で「なぜ、どうして」という考え方を大切にして聞いてみてください。気候や地形と地理的な特色、歴史的な事件とその原因、そういったもののつながりを意識して学習していけば、記述式の問題にもしっかり対応できると思います。

## 【数学】

問題と配点	求められるもの
問1 基本問題(36点) 式の計算, 平方根, 資料の活用, 関数, 空間図形, 図形の面積に関する基本的な問題	正負混合の乗除や, 平方根の混じった計算と有理化といった数学的な処理の技能, 因数分解, 平均値の求め方, 球と円すいの体積の公式, 中点連結定理に関する知識
問2 整数の性質(10点) 文字を利用して整数の性質を説明する問題	文字式の意味を理解し, 表現し, 説明する力と, 他者の考えを基に理解を深め, 論理的に表現する力
問3 確率(10点) 条件に合う場合の数や確率を求める問題	具体的な事象について, 条件にあった場合の数を順序よく整理する能力
問4 連立方程式(12点) 日常の場面を題材とした連立方程式の問題	数量の関係をとらえ, 的確に等式に表し, 処理する能力
問5 平面図形(12点) 二つの三角形の相似の証明と, ある条件下の特定の角度を求める問題	相似の証明に必要な, 円, 相似, 平面図形などの知識や概念と証明に用いる根拠を明確にし, 筋道を立てて説明する能力
問6 関数と空間図形, 三平方の定理の融合問題(20点) 三角柱の辺上を動く二点と底面の距離や, 二点間の距離と特定の角度を求める問題	一定の速さで図形の辺上を移動する点と底辺との距離についての関数的な見方や考え方 三平方の定理の知識・概念を活用して見通しを持って解決し, 正しく処理する力

### 【考察】

問1は全学年, 全領域からの出題でした。しかも, 配点は36点と全体の3分の1以上になります。基礎・基本が重視されていることの一つの表れだと思われます。

問2では, 一見正しそうな証明について, 間違っている点を説明した上で正しく証明することが求められました。数を文字で表すことの意味を正しく理解しているか, 文字を使って証明するのはなぜか, そういったことが試されている問題です。

問3は確率の問題で, 説明が分かりづらいと思った人もいるでしょうが, 4枚のカードから1枚取り出して戻し, もう一度取り出すという組み合わせの問題なので, 全部書き出しても16通りしかありません。説明を正しく理解して, そのことに気づけば, さほど難しい問題ではないのですが, 数学的な読解力が要求される問題の例と言えるでしょう。

問4は連立方程式の問題で, しかもXとYが問題文中で定義されているので, 正解できた人が多いと思います。

問5は三角形の相似の証明と, それを利用して角度を求める問題でした。まず証明については, 円周角の定理の逆を利用してA P C B'の4点が同一円周状にあることに気づく必要があります。さらに, 証明したことを利用しないと(2)の角度は求められません。つまり, 円周角の定理をきちんと理解しているか否かがこの問題を解くポイントになります。

そして, 問6は関数と三平方の定理の融合問題でしたが, 最後の(4)が難しかったのではないのでしょうか。三角柱の辺上を動く2点P, Qと定点Dを結ぶ角度が $90^\circ$ になる時間を求めるのですが, 点が動こうとも動かなくても, 3点を結んだ角度が $90^\circ$ になるということはその瞬間に3点を結んでできる三角形が直角三角形になるということがイメージできた人は正解にたどりついたはずですよ。

60分という限られた時間の中でこれだけの問題を解かなければなりませんし, 入試という状況の中にかかる精神的なプレッシャーにも打ち勝たなければなりません。**試験本番の時に一番頼りになるのはやはり自信です。「前によく似た問題を解いたことがある」, そう思えたら自信を持って解けるはず**です。

「その3」に続きます→

# IES Newsletter

県立高校入試問題分析その3 (福井県中学校長会の分析より一部抜粋し、加筆してあります)

## 【理科】

問題と配点	求められるもの
問1 植物のからだのつくりやはたらきに関する問題(12点) 被子植物の葉のつくりやはたらきに関する実験についての問題	植物のからだのつくりやはたらき, 光合成に関する理解と, 観察の結果を科学的に考察する力
問2 メダカを題材にした総合的な問題(13点) メダカの観察を通して, 動物のからだのつくりやはたらき, 遺伝, 生態系に関する設問に答える問題	動物の循環系や排出系, 遺伝, 生態系に関して習得した知識を関連づけて思考する力
問3 月や太陽系の惑星についての問題(13点) 皆既月食についての記述や, 太陽系の惑星の資料を活用して設問に答える問題	皆既月食などの天文的事象に関する知識と, 太陽系の惑星に関する資料を読み取り, 活用する力
問4 岩石の特徴に関する問題(12点) 岩石の分類図を完成し, 特徴に関する設問に答える問題	岩石の特徴を, 生成過程と関連付けて理解し, 整理し, 分類する能力
問5 化学変化に関する問題(13点) 鉄と硫黄の化合実験, 炭酸水素ナトリウムと塩酸の化合実験に関する問題	化学変化, 質量保存の法則に関する知識, 授業で行われる実験について科学的に考察し, 整理する力
問6 水溶液に関する問題(12点) 硝酸カリウムの水溶液について, 溶解度やイオンに関する設問に答える問題	溶解度や質量パーセント濃度, イオン, 実験の基本操作についての知識, グラフを読み取る力
問7 光と音に関する問題(12点) 光と音の伝わり方に関する問題	光や音の伝わり方についての基本的な知識, 作図の技能や科学的に思考する力
問8 運動とエネルギーに関する問題(13点) 物体の運動とエネルギーに関する実験についての記述を読み, 設問に答える問題	運動とエネルギーに関する基本的な知識, エネルギー保存の法則, 仕事, 電気に関する知識とそれらを活用する力

## 【考察】

「**目的意識を持った観察, 実験**などを通して, 科学的に探究する能力を身につけているか」, 「**自然の事物・現象について, 基礎的・基本的な知識を身につけ, 理解を深めているか**」, 「自然の事物・現象について, **日常生活と関連付けた科学的な見方や考え方および総合的なものの見方**を身につけているか」といったことをみるために, 全学年の様々な領域から出題されています。どこの中学校でも, 3年生の後半になると, 1年生からの学習内容を復習していますが, 残念ながら**観察や実験をもう一度やることはほぼ不可能**です。ですから, 授業で行われる観察や実験を大切にしてほしいのです。観察や実験の目的は何なのか, どうしてそのような現象や反応が見られるのか, そういったことを考えながら臨むことで理解も深まるはずです。

## 県立高校入試結果概況(抜粋)

学校名	学 科	募集 定員	推薦等 合格者数	一般 募集定員	一般 受験者数	一般 合格者数	不合格者 数	一般 合格率 (%)
足 羽	普通	105	16	89	89	89	0	100
	国際中国語	30	8	22	26	22	4	85
	国際英語	30	14	16	16	16	0	100
羽 水	普通	324	*	324	400	324	76	81
高 志	普通	266	*	266	416	266	150	64
	理数	38	17	21	33	21	12	64
藤 島	普通	342	*	342	383	342	41	89
福井農林	生物生産	35	15	20	20	20	0	100
	環境工学	35	8	27	29	27	2	93
	生活科学	35	16	19	19	19	0	100
	生産流通	35	14	21	21	21	0	100
科学技術	機械システム	35	8	27	27	27	0	100
	情報工学	35	12	23	23	23	0	100
	電子電気	35	6	29	29	29	0	100
	科学システム	35	3	32	33	32	1	97
	テキストデザイン	35	16	19	19	19	0	100
福井商業	商業	74	33	41	41	41	0	100
	流通経済	74	33	41	47	41	6	87
	会計	37	17	20	23	20	3	87
	情報処理	74	28	46	48	46	2	96
	国際経済	37	17	20	26	20	6	77

### 【考察】

表の右端にある合格率は、一般入試で受験者の何%が合格したかを示しています。最難関は高志高校の普通科と理数科で、ともに一般入試の合格率は64%でした。簡単に言えば3人に1人が不合格となったわけです。それに続くのが福井商業高校の国際経済科で合格率は77%、4人に1人の割合で不合格となっています。また、羽水高校普通科、足羽高校国際科中国語コース、福井商業高校の流通経済科と会計科、および藤島高校普通科で合格率が90%を下回りました。これら7つの高校だけでも、不合格者数の合計は303人にもなります。

また、すべての高校で、総合格者数（推薦入試の合格者＋一般入試の合格者）がきっちり募集定員通りになっていました。科学技術高校の科学システム科のように、募集定員からたった一人オーバーしているだけだったのに、不合格となっています。

これらのデータはあくまでも3月の入試の結果についてのものですから、今年度の入試の難易度は予想できません。受験する人が全く違うのですから、ふたを開けてみないと分からないのです。しかし、確かに言えることは、「入試は決して易しいものではない」ということです。最後の最後に合否を分ける1点、それはおそらく今の努力にかかっているのではないのでしょうか。

今年度入試を迎える人だけでなく、いずれ入試を迎えるみなさんも、ぜひ日々の努力を大切にして、自信を持って本番に臨める力を身につけていって欲しいと願っています。

(文責 山脇)